

鉄道中吊り広告から地域をみる



すすき

NO. 109

今年の8月は、前半は酷暑、後半は台風と日本列島全体が、異常とも思われる気象状況に振り回されました。

いわゆる夏枯れはなく、三井住友海上の時空保険と米国食肉輸出連合会のアメリカンビーフの集中広告が目立ち、それぞれの業種シェアの向上に貢献しました。

【本レポートは、図書館のご協力により、さいたま市立中央図書館及び川越市立中央図書館でご覧いただけます。】

2018年8月レポート

・調査対象路線 東京圏の次の16線

- ①京浜急行線 ②JR 京浜東北線 ③東急田園都市線 ④小田急線 ⑤京王線 ⑥JR 中央・総武線 ⑦西武線 ⑧東武東上線 ⑨東武伊勢崎線 ⑩京成線 ⑪東京メトロ銀座線 ⑫東京メトロ丸の内線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭都営新宿線 ⑮都営浅草線 ⑯JR 山手線
埼玉県関係の次の12線

- ①JR 宇都宮線・高崎線 ②JR 京浜東北線 ③JR 武蔵野線 ④JR 埼京線・川越線 ⑤西武線 ⑥東武東上線 ⑦東武伊勢崎線 ⑧秩父鉄道線 ⑨埼玉高速鉄道線 ⑩つくばエクスプレス線 ⑪東京メトロ有楽町線 ⑫東京メトロ副都心線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭東京メトロ南北線 ⑮東京臨海副都心線 ⑯東急目黒線・田園都市線

・調査月日 平成30年8月7日(火)

・調査結果 東京圏全体と埼玉県関係に大別してまとめました。

東京圏全体

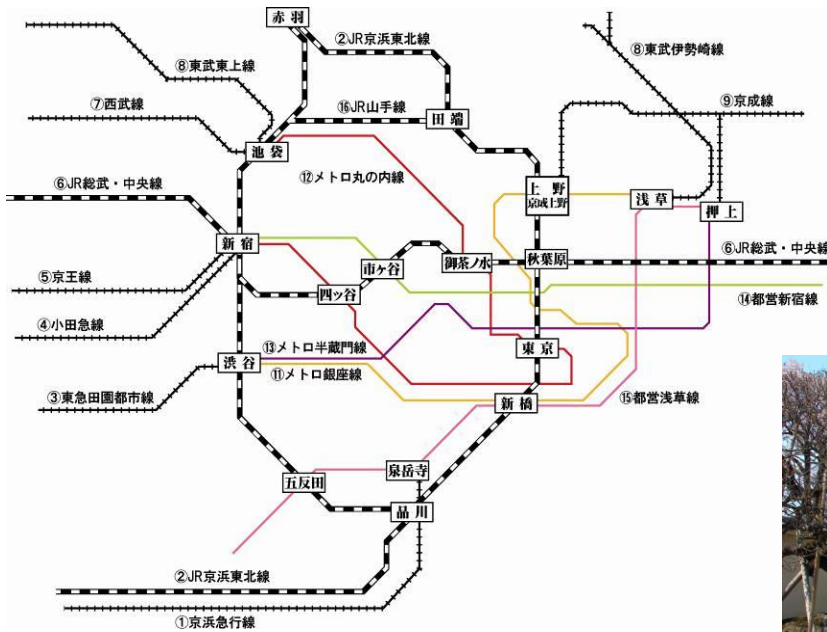
<全体的な状況>

- ① 8月の広告業種別ベスト5は、①旅行レジャー(98)②食品(75)③お知らせ(54)④各種商品(33)⑤金融保険(30)の順で、次点は商業施設(28)でした。
② 自社と他社別では、自社が165の40.6%で、他社は241の59.4%で例年水準です。
③ 空きスペースは34(7.7%)で小幅ながら前月よりさらに改善されました。

<各線ごとのコメント>

- ・②⑥及び⑯のJR各線(京浜東北線、中央線・総武線、山手線)は、三線を通じて今月も食品など業種が多く、中央・総武線では12で全線中でトップ。特に食品が目立つ。加えてカード、商業施設など自社系列の増加が顕著。空欄の存在も恒常的に。
- ・①の京浜急行線は、今月は旅行レジャー、食品、お知らせで7割以上を占める。6業種とダウン。
- ・③の東急線は、今月も自社の電力、ガスの集中的ワイド広告で他を圧倒。食品、お知らせと続く。
- ・④の小田急線は、旅行レジャーがダントツ。6業種と少ない。前月に引き続き自社率減少。
- ・⑤の京王線は、久しぶりに旅行レジャーがトップ。以下食品などで8業種。空欄4は珍しい。
- ・⑦の西武線は、旅行レジャーがトップだが大幅に減少。自社率と他社率の同数は初めての現象。
- ・⑧及び⑨の東武線(伊勢崎線と東上線)は、観光資源、商業施設であるスカイツリー中心の投稿が目立つ。取引先の残暑見舞い広告は東武独特の習慣か。
- ・⑩の京成線は、旅行レジャーをトップに食品、文化芸術と続く。10業種。
- ・⑪から⑬までの東京メトロ各線(銀座線丸の内線、半蔵門線)は、三線で旅行レジャーと食品が上位を占める。ダブル広告が増加。自社率は三線でさらにダウン。
- ・⑭及び⑮の都営地下鉄各線(浅草線、新宿線)は、今月も両線を通じて旅行レジャーとお知らせが多い。空欄両線で5と大きく減少で他線並みに。東北自治体の広告は定着。

東京圏調査対象路線図



京王帝都電鉄千歳烏山駅



Wikipedia より

日蓮宗妙高寺



tera-machi.com/info.html より

東京沿線別 広告内容の状況 (全体表)

鉄道種別 広告業種	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計
	京浜 急行 線	JR京 浜東 北線	東急 田園 都市 線	小田 急行 線	京王 線	JR中 央・総 武線	西武 線	東武 東上 線	東武 伊勢 崎線	京成 線	東京 外口 銀座 線	東京 外口 丸の 内線	東京 外口 半蔵 門線	都営 新宿 線	都営 浅草 線	JR山 手線	
出版	1	1	1		1	1	4	1		1	2	3	2				18
旅行レジャー	7	2		17	9	2	9	10	8	6	7	4	5	7	4	1	98
金融保険	2	4			2	4	2	2		2	2	2		2	2	4	30
不動産	4					2	3										9
教育学校		1				1	1		1	1		1					6
文化芸術		1				1	1	1		3	1	1	2			1	12
情報通信												2	1			2	5
食品	5	5	4	2	4	4	5	3	3	4	5	4	5	7	8	7	75
商業		2	2	3	1	3	6	6	2	1						2	28
カード		3	2	2	2	3				2	1		4			3	22
就職		2		1	2	3				2			1		1	2	14
宝くじ等														1	1		2
各種商品		2	8	1	1	2			3		2	2	4	3	3	2	33
お知らせ	5		3		2	2	1	5	7	2		1	4	8	12	2	54
官公庁																	0
その他																	0
空欄		5	8	6	4				4					4	1	2	34
合計	24	28	28	32	28	28	32	28	28	24	20	20	28	32	32	28	440
自社	12	0	13	14	12	7	16	14	16	12	3	1	12	8	9	9	158
他社	12	14	7	12	8	21	16	14	8	12	17	19	16	20	22	17	235

秩父鉄道羽生駅



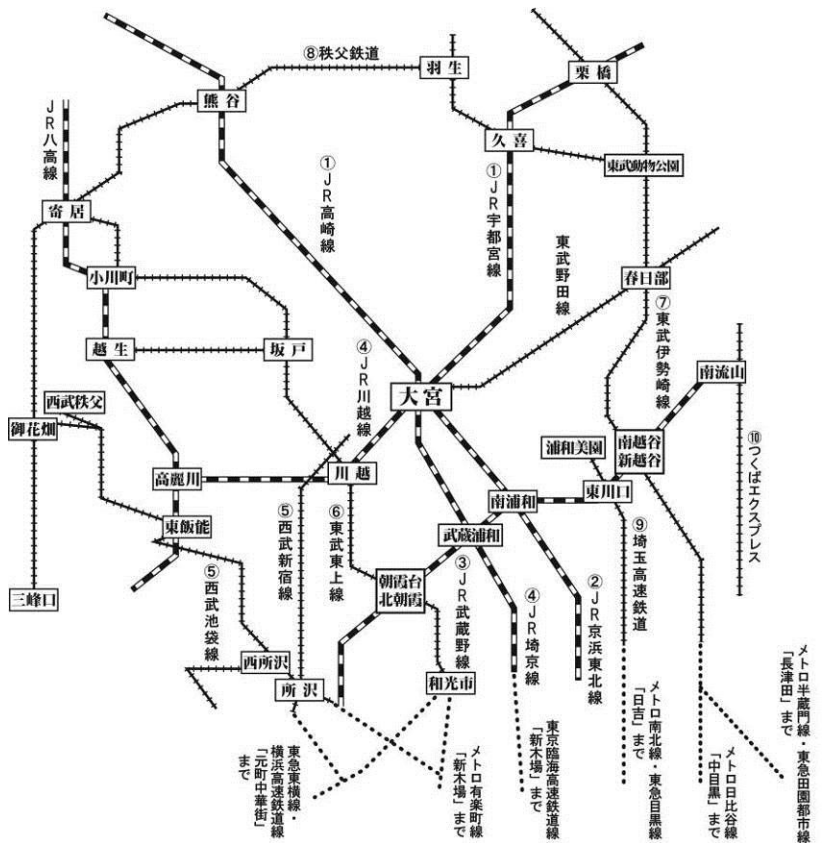
Wikipedia より

羽生水郷公園



羽生市観光協会の HP より

埼玉県内調査対象路線と相互乗り入れ線



埼玉県内鉄道沿線別の広告内容状況

鉄道種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計			
広告業種	JR宇都宮・高崎	JR京浜東北線	JR武蔵野線	JR埼京・川越線	西武線	東武東上線	東武伊勢崎線	秩父鉄道	埼玉高速鉄道	つづばEX	東京外有楽町線	東京外副都心	東京外口半蔵門線	東京外南北線	東京臨海都市線	東急黒田園都市線				
出版		1	3		4	1			2		5						16			
旅行レジャー	4	2	3		9	10	8	7	9		7						59			
金融保険	2	4	1	〔JR京浜東北線に同じ〕	2	2			2	〔JR山手線に同じ〕	2	〔メトロ副都心線に同じ〕					15			
不動産	2		3		3															8
教育学校	1	1	2		1		1		1		1									7
文化芸術	2	1			1	1		1	1		1		2							9
情報通信											2									2
食品	2	5				5	3	3			4			4						26
商業	3	2				6	6	2												19
カード	2	3	3								1			4						13
就職		2							1											3
宝くじ等																				0
各種商品		2	7				3	7	2		2						23			
お知らせ	2				1	5	7	8	4		2						29			
官公庁																	0			
その他																	0			
空欄	8	5	6				4	4									27			
合計	28	28	28		32	28	28	28	28		28						256			
自社	9	6	8		16	14	16	17	2		7						95			
他社	11	14	14		16	14	8	7	26		21						131			

鉄道各線の業種別広告内容は、2・3ページをご覧ください。

埼玉県関係

< 全体的な状況 >

- ① 埼玉県内に路線を有する鉄道は、JR、東武、西武、秩父鉄道、埼玉新都市交通、埼玉高速鉄道、つくばエクスプレスの7会社ですが、このうち中吊り広告を有する路線を対象に調査を実施しました。
- ② 掲載する中吊り広告は、鉄道各線が次のようにグループ化され同一内容になっています。
 - ・ JR 京浜東北線、埼京線、川越線、八高線（注：高麗川以南） ・ JR 宇都宮線、高崎線 ・ JR 武蔵野線（JR 中央・総武線に同じ） ・ 西武各線 ・ 東武線（東上線及び越生線を除く各線） ・ 東武東上線及び越生線 ・ 秩父鉄道線 ・ 埼玉高速鉄道線（東京メトロ南北線と基本的に同一内容） ・ つくばエクスプレス（JR 山手線と基本的に同一内容）

< 各線ごとのコメント >

- ・ ①の JR 宇都宮線、高崎線は、旅行レジャーがトップ。9業種と健闘。空欄8で前月並み。
- ・ ③の武蔵野線は、引き続き11業種で多彩。旅行レジャーと食品がトップ。空欄2と減少。
- ・ ⑧の秩父鉄道は、旅行レジャーと各種商品がトップ。空欄4で大幅に改善。
- ・ ⑨の埼玉高速鉄道は、旅行レジャーがトップ。今月も10業種。相変わらず自社率低い。

－ 「防災の日」 －



9月1日は「防災の日」でした。各路線の中吊り広告にも各地の防災訓練が実施される広告を目にすることが出来ました。

毎年、防災意識高めていく日ですが、家庭や事業所で備蓄している防災グッズ、特にアルファー米などの賞味期限や懐中電灯・ラジオなどの電池の状態を点検してみてはいかがでしょうか。

また、この時期は台風も多く発生します。豪雨による浸水などにも十分注意し、避難勧告などの自治体からの情報には的確・賢明に対処することもメディアでは訴えています。各自治体で配布しているハザードマップを見ることも大切でしょう。

台風の雨はしばしば洪水を巻き起こしてきました。「埼玉県立川の博物館」(略称：かわはく)では埼玉県の代表的な川として、古来より荒ぶる川との異名の通り幾度となく流域に洪水をもたらした「荒川」の治水の歴史を取り上げています。

そして、鉄道や道路網が整備されるまでの間、川が重要な輸送機関として人々の生活や産業に寄与してきた歴史も紹介しています。特に江戸の大火の時には(大量)に切り出された秩父地方の木材を荒川から流して運んだことは有名です。

埼玉県は県土における川の流域面積の割合が3.9%で日本一の川の国であり、「荒川」の川幅(吉見町と鴻巣市間で2537m)も日本一です。鴻巣市では「川幅うどん」がまちおこしの一役を担っています。

防災の日を訪れた「かわはく」は、地域活性・交通と川の関わりをも再考出来ました。おすすめです。(T.S)

